



きょうどうない ほうぞう りんぞう
経堂内に包蔵する輪蔵

亀川中央 西光寺

市指定有形文化財（建造物）

昭和42年4月11日指定

輪蔵は山門の傍^{かたわ}らにある経堂内に納められている。経蔵は中心に^{しんぼしら}芯柱を通して腕木^{うでぎ}を指し渡して八角造りの構造で、正面に仏像、他の七面の書架に^{きょうてん}經典を納めている。

芯柱の底部に鉄製の沓をはかせ、石の台に載せて回転させる仕組みになっている、台輪上には蛙^{かえるまた}股^{ほうおう}があり、鳳凰など極彩色で、屋根部は趣向を変えた彫刻が施されている。

柱芯に「宝暦六年丙子三月二十五日、北石垣大工安部清助、藤辰五郎」（1756）の名が見える。

経蔵は回転させると^{どくしょう}經典を^{どくしょう}読誦したと同じ利益があるといわれる。

（入江 秀利）